



「何を考えるか」から「何を学びとるか」へ

近年、学習のカタチが変化し、教員が一方向に教える講義スタイルから、社会現場での体験活動に主を置いた実習スタイルが増えてきました。421Lab. でも、被災地の復興や自然環境の保全、伝統文化の継承などの実社会にある身近な課題をテーマとして、専門分野を超えて課題解決に向けた連携が進んでいます。

しかしながら、一般的な実習スタイルでは「体験すること」が目的となりがちであり、本来のねらいである「教育」からずれてしまうこともあります。

421Lab. では、「事前研修」、「実践活動」、「発表機会」、「振返り研修」というPDCAサイクルを回すことで、学生自身が何を学びとるかを考え、確実に成長するプログラムを備えています。地域活動に関わった学生が取り組んだ課題に興味を持ち、卒業後の進路につながったり、活動で達成できなかった部分を自分の課題として向き合ったりしていくことにつながります。

体験するだけで終わるのではなく、学生が「体験を通して学びとる」ことに注力し、学生の成長を応援します。

災害時緊急支援チーム

災害発生時には行政や社会福祉協議会からのボランティア要請に迅速に応え、災害ボランティアセンター(通称:災害VC)の運営等に携わります。

施設での学習支援

様々な事情を抱えている小中学生に対して学習支援を行い、自主的な学習の定着と学力の向上を目指します。

おもな活動内容
・宿題や予習・復習を行う
・学校の授業の流れに沿って解らないところを学習

年に1度研修を行います

若園保育所「英語で遊ぼう」

園児を対象とした、遊びを交えて英語に親しみ、学んでもらう活動です。笑顔で参加してくれる子どもたちと一緒に英語を楽しんでくれる人を募集します。
※月1回活動+準備日

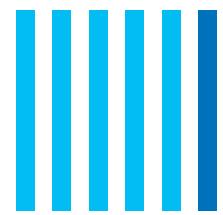
おもな活動内容
・絵本の読み聞かせ
・ゲーム
・季節行事などを通した英語学習



地域につながる。自分をひろげる。

北九州市立大学 421 Lab.

FULL Vol. 14



421 Lab.
地域共生教育センター



421 Lab. メールに登録して最新情報をGET!

info421@kitakyu-u.ac.jp

北九州市の魅力的な企業を紹介 COMPANY × STUDENT

学生のボランティア活動の
受け入れ先のひとつ、
株式会社ミクニにインタビュー！

株式会社ミクニ

キーメッセージ

- ①経営は教育。宝のように人を大事にする。
- ②小さなことの積み重ねが自信と誇り、信頼につながる。



御社の事業内容についてご説明ください。

遠藤さま：株式会社ミクニは総合不動産事業を行っております。福岡、北九州エリアを中心に賃貸の斡旋・管理、売買の仲介、リノベーション、分譲開発など様々な事業を展開しています。当社の一番の主力はリノベーション事業です。リノベーション事業では既存の建物を改修工事し、付加価値をつけて再販売したりします。デイバロップメント事業では大規模な建設の企画、開発、分譲販売を行います。総合不動産事業は当社の特徴、強みです。就職ポータルサイトで「不動産」と検索すると約4,600件出でますが、「総合不動産」になるとぐっと数が減ります。それぐらい珍しい企業形態ですね。

総合不動産業のメリットとしては、様々な切り口で物事を学ぶことができますので、不動産のことだけでなく、建築、法律、税金など多分野の知識が身に付くことです。特に若い人たちへのメリットとしては、弊社の場合ですと、いろんな事業展開ができますので、賃貸業から売買へと次のステップへ進めて、業者さんを相手にリノベーション事業を担当したり、都市開発を担当したり、一社のなかでキャリアアップして、不動産のプロを目指すことができます。

副島さま：経営は教育です。弊社の社訓にあります。人は宝と考え、大事にしています。

松山：常に経験を重ねて成長できる職場は魅力的ですね。

御社と北九州との関わりについてお聞かせください。

遠藤さま：当社の創業は1981年2月です。創業時より小倉北区に本社を置いています。全国展開もしていますが、事業の中心は常に福岡県、特に北九州です。40年間ずっとこの北九州という地で事業を行っています。不動産ですので、地域の人、コミュニティに関わる機会がたくさんあります。ミクニの名前を根付かせていただいたので、北九州を基盤に事業展開させていただいております。北九州のミクニワールドスタジアムのネーミングライツスポンサーを務めるなど、イベント協賛というかたちで地域貢献に携わっております。

北九州の良いところと課題についてお聞かせください。

遠藤さま：北九州は子育てがしやすいまちだと思います。屋内外で子ども達が遊べる施設が多く、商業施設には授乳室が設置されているなど、安心して出かけられますね。また、比較的に低家賃で広くてきれいな部屋に住むことができます。同じ広さで東京の半分以下です。課題は人口減少と地域が盛り上がりに欠けてきていることです。商店街やお祭りに来る人が少なくなっています。北九州の生活の基盤、住みやすさである不動産は大事ですので、改善したいと思います。

副島さま：北九州は、政令指定都市で働くことができ、なおかつ自宅から職場までの通勤も比較的スムーズです。そしてやはり人口減少と高齢化率の上昇、それに伴う空き家、空き地の発生が喫緊の課題だと思います。

御社が学生の地域活動をサポートしてくださる想いをお聞かせください。

遠藤さま：地域に溶け込み、活動を継続したいと思っておりました。そこで大学の先生や市の職員の方々に声をかけさせていたいたい次第です。地域共生教育センターのまち美化魅力向上プロジェクト(通称:Clear)の学生さんとの連携は初めてです

が、社員も参加することで北九州のことをもっと知り、北九州に愛着を、自社と地域に誇りを持つもらいたいと考えています。

副島さま：地域に密着して何をするのかというのが大事です。小さなことの積み重ねだということで、創業当時から朝清掃が伝統と文化になっています。

遠藤さま：分譲開発に関わる話にもなりますが、地道に清掃活動を繰り返すなかで地域コミュニティと信頼関係を構築することがとても大切だと思っています。



学生の地域ボランティア活動をどのようにご覧になられていますか。

遠藤さま：1、2年生の頃から何年もボランティア活動を継続するのはすごいことです。例えば、Clearプロジェクトの学生さんは北九州の主要なバス停である三萩野で清掃活動をされてきました。バス停の利用者は多いですし、周辺で暮らす方もおられます。そういった方がいかに気持ちよく過ごせるか、利用できるか。清掃活動を楽しみにしている人、感謝している人、はたまた救われる人もいるんじゃないかなと思います。地域共生教育センターのボランティア支援をきっかけに高校生が北九州市立大学に来て、北九州に愛着を持って、北九州市で働いたり暮らしていただいて、若い世代から北九州を盛り上げてゆくのもいいんじゃないかなと期待の目で見ています。

北九州で働くことの魅力は何だと思いますか？

遠藤さま：北九州には地域に密着したモノづくりの会社がたくさんあります。地域に根差した日本トップクラスの企業もあれば、ベンチャーや中小企業の支援をしている会社もあり働く選択肢があると思います。北九州市主催の合同企業説明会では200社近くの企業が出展していましたね。

これから社会人になる若者たちと、どんな北九州を作りたいですか。

遠藤さま：若者の地域活動とその取り組みの発信を通して、北九州がもっと盛り上がっていくと思います。弊社としましては、一人暮らしの学生さんにとって安心できる価格で家賃を提供したり、リノベーション事業で住みやすいまちづくりをサポートするなどしていけたらと思います。

就職活動を控える学生にメッセージをお願いします。

副島さま：業界に固執することなく、企業の風土や特色を自分でよく確かめ、自分が納得できる企業を選んでほしいです。つまずくこともあると思いますが、たくさん情報収集して、ここなら私は頑張れそうだという職場を見つけてください。

遠藤さま：学生だからこそいろんな人に相談してみて、膨大な情報のなかから必要なものを厳選することができれば、悔いのない就職活動になると思います。

伊東・松山：ありがとうございました！



Interviewee



株式会社ミクニ
取締役
副島 晶 さま

Interviewee



株式会社ミクニ
人事課
遠藤 大心 さま

Interviewer



法学院
2年
伊東 龍生

Interviewer



法学院
1年
松山 陸聖

421Lab. 学生運営スタッフ

地域と学生をつなぐ

- 主な活動場所
北九州市立大学地域共生教育センター および 市内各所
- 昨年度参加人数 45人
- 活動頻度
月に8~10時間程度
毎週火曜日など



地域共生教育センター(通称:421Lab.)は、学生の力を必要とする地域と地域活動を行いたい学生をつなぐ架け橋のような役割を担う教育機関です。421Lab.に所属する学生運営スタッフは、全学部・学群の北九大生に対して、地域活動を通して貴重な学びを得てもらうために「地域活動の魅力を発信し、活動しやすい環境を整える」という目的のもと、どうすれば学生や地域のニーズに応えることができるか真剣に考えながら日々活動を行っています。

KITAQ∞
「糸」復興応援プロジェクト「学生ができる支援」、
「北九州からできる支援」
を細く長く続ける

- こんな人におすすめ!
- 復興支援に興味のある人
- 会話によって人と丁寧に接したい人
- お祭りが好きで、鉄板バーナーを身に付けたい人



東日本大震災を始めとした災害の風化防止活動、細く長い支援と啓発活動を続けることで防災意識を高めることを基本理念として活動しています。受け入れ先である、お好み焼き屋いしんさんのご協力のもと、イベントに出店し、売り上げ金の一部を義援金として寄付しています。これらの活動を通して、被災地の変化していくニーズをくみ取り、その変化に対応した支援を考え、実践していきます。



防犯・防災プロジェクト(MATE's)

防犯防災意識向上の
“きっかけづくり”

- こんな人におすすめ!
- 考え方や視野を広げたい人
- 企画運営力を身に付けたい人
- コミュニケーション能力の向上を図りたい人



「北九州を学生の視点から安全・安心なまちにしたい」そんな想いから、防犯・防災という切り口で活動を行っています。メンバー一人ひとりが他人事ではなく自分事として「まちの安全・安心」について考え、万が一のとき、ベストな行動がとれるように、防犯・防災の視点から地域へ入り、コミュニティの活性化を図っています。



桜丘小学校学習支援プロジェクト

いっしょに学ぼう!
教育現場で。

- こんな人におすすめ!
- 教員免許の取得を目指している人、将来教員になりたい人や教育業界で働いてみたいと思う人
- 子どもが好きな人
- 教えることが好きな人



小倉北区の桜丘小学校や富野小学校にて、児童の学習支援を行っています。担任の先生と一緒にになって、通常行われている授業に参加し、「ATアシスタント・ティーチャー」として、子どもの理解をサポートする役割を担っています。その他の活動として、特別支援学級で生活支援を行ったり、小学生対象の「キャリア教育」と題し、将来の仕事や生活など、進路に関する特別授業を行っています。



子ども食堂応援プロジェクト

～美味しい食事と子どもたちの心の支援を目指して～

- こんな人におすすめ!
- 子どもが大好きな人
- 何か新しいことを始めたいと思っている人
- コミュニケーション力、企画力などさまざまなチカラを得て成長したい人



子ども食堂応援プロジェクトは、子ども達の孤食を防ぎ、安心して過ごすことができる家と学校に次ぐ第3の居場所づくりを目的として設立され、市内6つの子ども食堂のサポートをしています。子ども達と遊んだり、宿題の手伝いをするだけでなく、クリスマスやハロウィンなどイベントの企画や運営をなどしています。これらの活動を通して普段の大学生活では経験できない学びを得ることができます。



ハッピーバースデープロジェクト

「誕生日」という
特別な機会に、
楽しい思い出づくりを!

- こんな人におすすめ!
- 子どもと接するのが好きな人
- 絵を描くのが好きな人
- 折り紙や工作が得意な人



共働きやひとり親家庭が増加傾向にある、子どもたちが楽しめる誕生日会を開催し、放課後の居場所づくりへの貢献を目的として活動しています。具体的には、毎週水曜日に必要な飾りやバースデーカード等をみんなで作成し、子どもたちに1年に1度の誕生日を笑顔で迎えてもらい、楽しい特別な時間を過ごしてもらえるよう毎月誕生日会を実施しています。



『食』から学ぼうプロジェクト

楽しく食と健康の大切さを発信

- こんな人におすすめ!
- 料理が好きな人
- 子どもと触れ合うことが好きな人
- 食べることが好きな人



私たちは、地域社会とのつながりを大切に、食と健康について自発的に学習をし、学習成果は子ども達や同世代の学生に伝えています。主に子ども食堂における昼食の献立作りと調理、子ども達のお世話、地域の小学校における食・健康・環境学習支援、学内外における調理実習・食習慣改善教室に参加しています。その他にも飲酒疑似体験を通じた飲酒運転防止イベントの企画運営、お弁当作りの推進を行っています。



いぬねこプロジェクト

わんちゃん、ねこちゃんは
我らが守る

- こんな人におすすめ!
- 犬や猫が大好きな学生
- 動物を自宅で飼えない学生や動物との触れ合いに 관심のある学生
- 動物保護活動・福祉・環境などに興味のある学生



私たちは北九州市が掲げる「犬猫殺処分ゼロ」を第一目標として活動しています。また、人と犬猫がより良く関わり合える環境づくりを目指し、譲渡会、北九州市の関連イベント参加、セラピー犬のお世話などを行っています。私たちの取り組みの広報活動のほか、人、犬、猫とのより良いかかわりを目指した啓発活動を実施しています。



- 主な活動場所
ドックカフェkatanoda
北九州愛護センター、門司港
- 昨年度参加人数 8人
- 活動頻度
ミーティング: 毎週月曜日休み (12:15~12:45)
セラピー犬のお世話: 月3回程度 (月曜日・火曜日)
愛護センター訪問: 月3回(水曜日)

地域活動プロジェクト紹介

「ブンガクの街北九州」 発信プロジェクト

日常に文学を!

- 主な活動場所
学内(ミーティングやイベント事前準備)
北九州文学サロン、京町銀天街
(イベント準備および当日)
- 昨年度参加人数 10人
- 活動頻度
週に1度、1コマ
(受け入れ先とのミーティングは月2回程度)
イベント: 2カ月に1回程度



森鷗外や松本清張など、北九州市にゆかりのある作家は多くいます。しかし、そのことを知らない若者の多くは、北九州市の文学的側面に注目する機会がほとんどありません。よって、私たちブンガクプロジェクトでは、若者の「文学って古い、固い、難しい」といったイメージを変え、「文学」を新たな北九州市のブランドとしていくためさまざまな活動を行っています。

食べる国際貢献プロジェクト TFT

ランチから始める
おいしい国際貢献!

- 主な活動場所
北九州市立大学 北方キャンパス
食堂など
- 昨年度参加人数 6人
- 活動頻度
月に4時間程度、毎週月曜日など
※他大学との交流会・勉強会など、ミーティング以外にも週に1~2時間程度活動を実施しています。また、星休みにミーティングを実施しています。



世界では全人口約70億人のうち、20億人が肥満に悩む一方で、10億人は飢餓に苦しんでいます。この食の不均衡を改善するために、私たちは学内でTABLE FOR TWO(以下、TFT)メニューを販売し、1食につき、売上の20円を途上国の子どもたちへ、給食1食分の寄付金として届ける活動を行っています。生協食堂にご協力いただき、TFTフェアの開催やその広報活動を行っています。

9 国際交流プロジェクト FIVA

地域住民と外国人の 架け橋になろう!

- こんな人におすすめ!
●国際交流に興味・関心がある人
●多文化共生に興味・関心がある人
●自分とは異なるバックグラウンドを持つ人と接し、コミュニケーション能力を高めたい人



私たちは、北九州YMCA日本語学院の留学生と日本語で、北九州国際技術協力協会(KITA)の外国人技術研修員さんと月に1回程度英語で交流し、地域とつながり合う国際交流活動の企画・運営を行っています。同じ北九州で暮らしながらも、接する機会の少ない日本の大学生・地域住民・外国人をつなげ、国際交流を通じて北九州を始め日本の魅力を発信しながら、多文化共生社会の実現に向けた課題改善に取り組んでいます。

- 主な活動場所
北九州市立大学、北九州YMCA
日本語学院、市内各所
- 昨年度参加人数 28人
- 活動頻度
月に1回3時間程度(以前は6時間程度)
※ミーティングは月に2回、計20分程度、オンラインで開催しました。以前は週に1回対面で30分程度行っていました。

11

まち美化魅力向上プロジェクト Clear

「Clear」な活動で まちの魅力UP

- こんな人におすすめ!
●企画から実行までチャレンジしたい人
●地域の課題解決に興味のある人
●少人数で仲良く活動したい人



本プロジェクトは、ゴミ清掃を通して北九州市内の環境課題を解決し、市の魅力を向上させることを主な目的に活動しています。2020年3月までは特に三萩野バス停周辺で集中的に清掃活動をしていました。このエリアの清掃を現在でも行っています。また、北九州市に本社を持ち、不動産業を行っている株式会社ミクニさんと連携し、新たに活動をスタートしました。

13

平和の駅運動プロジェクト

太鼓で“核なき世界を” 長崎街道を平和ロードに!

- こんな人におすすめ!
●イベントを一から発案・企画・運営してみたい人
●大学でかけがえのない仲間と出会いたい人
●北九州でしかできないことを経験してみたい人



「北九州市小倉が、実は原爆投下の第一目標だった」という歴史的事実を重く受け止め、「北九州市の学生だからできること」をモットーに、北九州市小倉に根付く伝統芸能「小倉祇園太鼓」を用いて、音楽と若さの力で平和を訴える文化的平和活動を行っています。夏には自転車で小倉から長崎までの自転車リレーをしながら広島原爆の残り火を運ぶ活動を行っています。

15

10 食べる国際貢献プロジェクト TFT

地域クリーンアップ プロジェクト

参加者みんなで 楽しくゴミ拾い!

- こんな人におすすめ!
●活動は週1回なので、ゆるーくひととの交流を図りたいひと
●ゴミ拾いボランティアに興味を持っているひと
●ワイワイするのは苦手だけど、何か活動はしたいと思っているひと
- 主な活動場所
北方校区
- 昨年度参加人数 20人
- 活動頻度
月に5時間程度
毎週金曜日
※1年を通して参加自由型で活動しています。



地域環境をより良くするため、毎週金曜日に北九州市立大学周辺でゴミ拾い活動を行っています。参加者みんなで楽しく活動することによって、街の美化を図るとともに、活動を見た人がポイ捨てをしてはいけないと思っていたらよう活動を実施しています。また、地域の環境美化に力を入れている企業様とのコラボ清掃、モノレール駅周辺の清掃活動も始めました。

12 青空学プロジェクト

みて、ふれて、 感じる「北九州」。 学生だからできること。

- こんな人におすすめ!
●環境問題に興味がある
●地域に出て活動してみたい
●自分たちで企画・実践したい
- 主な活動場所
東田エコクラブ
北九州市立大学
- 昨年度参加人数 6人
- 活動頻度
ミーティングを週に1回実施
※その他必要に応じて活動を行っています。



私たちは北九州市の環境問題に対して、学生ならではの視点から実践的なアプローチをとり、問題解決を行うプロジェクトです。当初は「北九州市公害克服の奇跡の風化防止」を目的に設立されました。現在は、北九州市で取り組まれている「SDGs」(Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標))の中から課題を選び、学生が出来る活動を企画・実践しています。

14 北九州市立大学BBS会

地域の子ども達が非行や 犯罪をしない 環境をつくりたい!

- こんな人におすすめ!
●子どもと関わるのが好きな人・関わり方を学びたいひと
●犯罪・非行の防止について学びたいひと
●行政機関や地域の施設の人など様々な立場の人と関わりたいひと



- 主な活動場所
大学内(ミーティングの開催)もしくは受入団体の施設内
- 昨年度参加人数 6人
- 活動頻度
(ミーティング)毎週水曜日 4限または5限
※活動日は基本的にシフト制です。個人のスケジュールと両立しながら地域と関わることができます。月1回の勉強会は休日の夕方頃(17:00~)行いますが、講師の方のご都合に合わせて変更する場合があります。

BBS(Big Brothers and Sisters)とは、非行少年たちへの更生支援や非行予防を全国規模で行う団体です。本プロジェクトはその中の1学年として活動をしており、対象者は非行少年に限らず、不登校・里子・養護施設の子ども達も含みます。主な活動は、子ども達との日々の学習支援、遊びを通した関係づくり、よりよい支援を行なうための月1回の勉強会を行ったり、地域からの依頼(ともだち活動や学習支援)に応じたりしています。